

## 上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書（特別研究・一般研究）

研究代表者 所属・職名 理事・副学長 \_\_\_\_\_

氏 名 大庭重治 \_\_\_\_\_

研究期間 平成30年度～平成31年度

(令和元年度)

研究プロジェクトの名称	健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの学級担任を支援するための「地域連携commons」形成の試み
研究プロジェクトの概要	<p>小中学校の学級には、特有の身体特性のある子ども、アレルギーのある子ども、服薬に伴う副作用に対する配慮が必要な子どもなど、健康管理に特別な配慮を必要とする子どもが数多く在籍している。本研究プロジェクトの目的は、上越教育大学と新潟県立看護大学の協働を基盤として、このような子どもたちの学級担任（養護教諭）を支援するための地域の研究シーズを共有化することであった。</p> <p>そこで本研究プロジェクトでは、大学、附属学校園、地域の学校、教育委員会等の密接な連携による専門家集団を組織することにより、健康管理に特別な配慮を必要とする子どもを担当している学級担任や養護教諭の先生方を地域の中でサポートするための「地域連携commons」を上越地域において形成することを試みた。このため、定期的に自主セミナーを開催し、子どもたちの健康管理に関する課題を整理するとともに、これまで蓄積されてきた研究成果を共有し、それらを広く発信した。</p>
研究成果の概要  ※申請時にチェックした「取組課題」との関連とその成果も明記すること。	<p>本学教員、本学院生、新潟県立看護大学教員、本学附属学校園教員、地域の学校の教員及び教育委員会指導主事からなるプロジェクトメンバーを中心として、2年間に11回の自主セミナーと14回の研究打合せを実施し、上越地域において活躍する各領域の専門家による「地域連携commons」の形成を図った。自主セミナーでは、各自の専門領域に関する話題を提供し、学校における健康管理に関する知見を深めるとともに、毎回、上越市近隣の学校に開催案内を送付し、広く成果を発信した。</p> <p>令和元年度には、外部からの講師を招いて公開講演会を開催した。また、上越市内の全小学校及び中学校の養護教諭を対象として、『健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの支援について』をテーマとしたアンケート調査を実施し、学校における養護教諭の健康管理に関する意識を明らかにするとともに、健康管理を必要とする子どもたちのさらなる支援の充実に必要であると考えられる課題について整理した。</p>
研究 成果 の 発 表 状 況	<p>第7回特別支援教育実践研究発表会（上越教育大学特別支援教育実践研究センター）においてポスター発表を行った。</p> <p>自主セミナーにおける研究成果を9本の論文としてまとめ、上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要に掲載した。</p>
学校現場や授業への研究成果の還元について	<p>自主セミナーの場を活用して学校現場に対し研究成果を継続的に発信するとともに、論文の再掲を中心に、年度毎に成果報告のための冊子を作成し、関係者に広く公表した。</p>

【提出期限】 令和2年3月31日（火）：厳守